

子どもの豊かな未来のために新しい学校をつくります

杉並第五小学校・若杉小学校 統合協議会ニュース

第1号

— 第1回統合協議会が5月30日に開催されました —

杉並区教育委員会は、杉並区立小中学校適正配置基本方針に基づき、平成18年2月、第一次小中学校適正配置計画（小学校の統合）で、杉並第五小学校と若杉小学校を統合して、新しい学校をつくる計画を決定しました。

統合を円滑に実施するため、学校関係者と区教育委員会事務局で統合に向けた協議会をつくり、さまざまな問題についてあらかじめ検討し、十分な準備をしていきます。

5月30日（火）、第1回統合協議会が若杉小学校で行われました。その内容をお伝えします。

✦ 計画の概要

○ 統合する学校

杉並第五小学校（天沼2-46-10）と若杉小学校（天沼3-15-20）

○ 統合時期は20年4月、新校舎は22年に完成

平成20年4月に若杉小学校の校地・校舎で開校します。そして、現在の杉並第五小学校の校地に新校舎を建設し、平成22年度に移転します。



第1回統合協議会の内容

第1回統合協議会は、平成18年5月30日（火）若杉小学校で開催されました。

まず教育長から委員の委嘱がありました。委員構成は、地元町会・自治会、学校評議員、保護者、学校から校長、副校長、主幹、教育委員会から学校適正配置担当部長の計21名になっています（右表のとおり）。

今回、会長に若杉小の中島校長が、副会長に杉並第五小の東海林校長が選出されました。

役職等	氏名	氏名
町会及び自治会代表	藤原 嘉民	今村 国治
保護者代表	横田 美奈	村山 幾子
	対馬 初音	吉川 和美
	松戸 勉	神谷 由美子
学校評議員代表	藤原 康雄	斉藤 敬子
	水島 隆年	五十嵐 恵子
	井上 尚子	南 秀郎
校長	○東海林 孝吉	◎中島 豊
副校長	出口 明	黒沼 八重子
教職員代表（主幹）	藤原 和彦	浅野 正臣
学校適正配置担当部長	小澄 龍太郎	

※◎は会長、○は副会長

（敬称略）

協議会の期間は、統合する 20 年までの 2 年間です。話し合う内容は、新しい学校の教育に関すること（教育目標、校名、校歌、校章、学校運営、その他統合に必要な事項など）、校舎建設に関すること（新校舎の内容、両校の歴史的資料の保存施設など）です。校舎建設については、内部組織として「統合新校建設検討部会」をつくり、新校舎の基本計画案を検討します。

第 1 回では、次回の議題について話し合われました。第 2 回の議題は校舎に関することとなりますので、第 3 回の議題について、委員から活発な意見が交わされました。早めに取り掛かる必要があるとして、統合新校の校名選定、通学路の安全、両校の学校で考えている新校でやっていきたいことの三点に決まりました。

○統合新校建設検討部会について

新校舎の内容はその専門性から、協議会の中に統合新校建設検討部会をつくり話し合っていきます。協議会委員に、新たに学識経験者、体育指導委員、学校開放運営委員、天沼中学校長を加え、計 28 名の構成です。部会の期間は 1 年間です。

第 1 回統合新校建設検討部会は、6 月 13 日（火）第 2 回協議会で行いました。委員委嘱後、今後の進め方を話し合いました。次回は、

杉並第十小学校を視察後、校舎建設の基本方針の柱立てを話し合う予定です。

内容は統合協議会ニュース第 2 号でお知らせする予定です。

○杉並第五小学校・若杉小学校教職員連絡会について

統合協議会とは別に、両校の教職員（校長、副校長含む）、指導主事等による杉並第五小学校・若杉小学校教職員連絡会をつくり、統合新校の教育内容、両校の交流事業について話し合っていきます。連絡会と協議会と連絡を密にすることによって、よりよい統合新校を目指していきます。

○事務局から工期についての連絡事項

既存校舎の解体や一部地下に施設をつくることを考えると、工期が延びることがあるかもしれません。新校舎へ移転予定（平成 22 年 4 月）について、おおよその予定です。

○会議の傍聴について

会議は原則公開です。傍聴は自由ですが、会場の都合上、事前に申込みが必要になります。申込み方法は、最終ページをご覧ください。また、会長が非公開を定めたときに限り、協議を非公開にすることができます。

主 な 意 見

1：どのように統合していくのか、まだ十分周知されていない。情報提供を心がけてほしい。

・（事務局）統合協議会ニュースをつくり、地域や保護者へ進捗状況をお知らせします。また、教育委員会ホームページに協議会資料を逐一載せていきます。

2：これまで、保護者から、通学路の安全確保に不安があるという話が出ていました。通学路の安全確保については、早めに取りかかりたい。

・（委員）現在の課題、状況の情報提供をするのはどうか。

・（委員）学校や PTA が持っている資料（例えば、安全マップ）を持ち寄ってはどうか。
・（委員）自分達の通学区域だけではなくて、相手の通学区域のここはどうなのか、といった情報交換をしたい。

3：統合新校になる時には、PTA 組織も統合することになるが、自主的に行うとういことよいか。

・（委員）何らか話の場を設ける方がやり易いと思います。
・（事務局）保護者側が決めた話し合いの場へ事務局が資料を出す、または話を承る形も可能です。
・（委員）来年度に役員選出をするためには、

どういう役割、仕事があるのかが必要で、それはその前の総会で承認を得る必要がある。今年度中にある程度の形が見えないと難しい。

- ・(委員) PTA には、本質的な部分の課題がある。新しくなるからこそできる部分もあるので、どういうふうにやるのがいいのか、少し考えながら進めてほしい。
- ・(委員) 子どもと P と T の関係を問い直す機会に来ている。
- ・(委員) また、新校に学校評議員がどのように関わっていくのかも、考えていく必要がある。

4 : 地域、商店街、町会の方々が統合新校にどのような形で応援、寄与できるか、協議会の委員が話を聞く、あるいはどうしたらよいか質問する機会も協議会の中で必要だと考える。

5 : 学校のハード（施設内容）はソフト（教育内容）に相当影響されると思う。6月から建設検討部会が始まるが、ソフトを先行して決めていく必要はないのか。

- ・(事務局) 先行又は並行して、統合新校をど

のような学校にするのか、という論議が必要です。建設検討部会の最初に、その論議をすることになります。教職員連絡会で教育目標等が論議され、その素案が提示されると、校舎設計にも反映してくるのではないかと思います。

- ・(委員) カリキュラムが変わることによって、建物のソフト、ハードにも重要な問題になってくる。
- ・(委員) どういう教育が新校に必要なのか、どういう子どもに育ててほしいのか、そういったところからの議論も必要ではないかと思う。
- ・(委員) 学校からは、現時点で統合新校の特色と考えられるものを出していくようにする。

6 : これからは、保護者の代表として皆が不安に思っていることをこの場に出して解決策を持ち帰りたい。



質 疑 応 答

1 : 統合協議会で検討していく上で、例えば他区市の視察や専門家を呼んでの勉強会などは考えられるのか。

- ・(事務局) 今後の議論の展開によるが、当協議会のご要望に沿うように準備していきます。

2 : 統合協議会の検討事項に、若杉小の校地・校舎の跡地利用は含まれるのか。

- ・(事務局) 跡地利用は、現在、全く白紙の状態です。他にも、荻窪小の移転改築による跡地がありますので、区全体として有効活用することが課題になってきます。

3 : 合併した学校には、校長先生が一人、副校長先生が一人か。

- ・(事務局) 統合新校については、校長 1 名、副校長 1 名です。

4 : 新校舎のイメージを、具体的に決めていくのはいつごろか。今年後から来年度にかけて新しい教育課程を編成するが、その時点で、新校舎の提案では間に合わないのか。

- ・(事務局) 20年に着工するためには、18年の夏から校舎の配置図面の作成段階に入らなければならない、時間的な余裕はありません。今まで行ってきた両校の教育方針が180度変更になるとは考えにくく、両校の良いところをお互いに合わせてそこからスタートすることで理解が進むのではないかと考えます。
- ・(委員) 地域に根ざした形で新校を目指してというところを踏み外してはいけないと思う。

両校の交流行事

○ 有意義な合同遠足や交流活動が行われました。

遠足、社会科見学、移動教室などの学校の行事は、両校が合同で実施します。

5月12日（金）は3、4年生の遠足で昭和記念公園へ合同に出かけました。遠足の前に、両校の子どもたちは班旗の製作などの事前学習をいっしょに行いました。遠足当日は天候にも恵まれ、子どもたちは活発な交流をしました。学校からの感想は、「大人が考える以上に子どもたちは、自然に溶け合うものだと実感した」とのことです。

5月31日（水）には、1、2年生が井の頭公園へ遠足に出かけました。また、合同での移動教室を6年生は6月14日から3日実施しました。5年生は6月28日から実施する予定です。

この他にも学校では、さまざまな交流の計画があります。今後も、学校の取り組みなどは、ニュースなどでお知らせしていきたいと思います。



…第2回以降…

<第2回統合協議会(第1回建設検討部会)> 開催終了

- ・6月13日（火）15時から、会場は杉並第五小。
- ・議題は建設検討部会の委員委嘱、今後の進め方について。

<第3回統合協議会>

- ・7月10日（月）15時から、若杉小学校で。
- ・議題は、統合新校の校名選定。通学路の安全の情報提供。両校の学校で考えている新校でやっていきたいことの情報提供。

<第4回統合協議会(第2回建設検討部会)>

- ・8月4日（金）、杉並第十小学校を視察後、15時から建設検討部会（会場は杉並第五小）を行います。
- ・議題は未定。第3回の積み残しがあればその検討を行う。

○傍聴を希望される方へ

協議会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、事前にお申込みください。[申込み先：教育委員会事務局学校適正配置担当 03-3312-2111（代表）、杉並第五小学校（副校長）03-3392-6528、若杉小学校（副校長）03-3392-6428]

名称：杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会ニュース第1号

発行：平成18年6月

計画のお問い合わせ先：杉並区教育委員会事務局学校適正配置担当

電話 03-3312-2111（代表）、E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp



杉並第五小学校と若杉小学校の統合に関する資料は、杉並区教育委員会のホームページに掲載しています。
○教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

子どもの豊かな未来のために新しい学校をつくります

杉並第五小学校・若杉小学 統合協議会ニュース 第 1 号 最終号

天沼小学校の開校はもうすぐそこです!

統合新校の開校に向けて、統合協議会では 2 年間の長きに渡り、統合新校の校名に始まり、新校舎基本計画案、校章、校歌、通学路、教育方針などを協議してまいりました。委員の皆さまには、子どもたちのための新しい学校づくりに向けて、毎回、熱心にご検討いただき、本当にありがとうございました。

統合新校「杉並区立天沼小学校」開校の準備が整い、第 21 回（2 月 5 日）をもって統合協議会は終了しました。統合協議会ニュースは今号が最終号となります。

天沼小学校が地域に根ざした学校として発展することができますよう、これからも地域の皆様と共に歩んでまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

天 沼 小 の 校 歌

天沼小学校の校歌ができました。作詞は詩人の谷川俊太郎さん、作曲はピアニストの谷川賢作さんです。4 月の開校に向けて、杉並第五小学校と若杉小学校の子どもたちが校歌の練習に励んでいます。

杉並区立天沼小学校校歌

「世界は不思議でいっぱいだ」

作詞 谷川俊太郎
作曲 谷川賢作

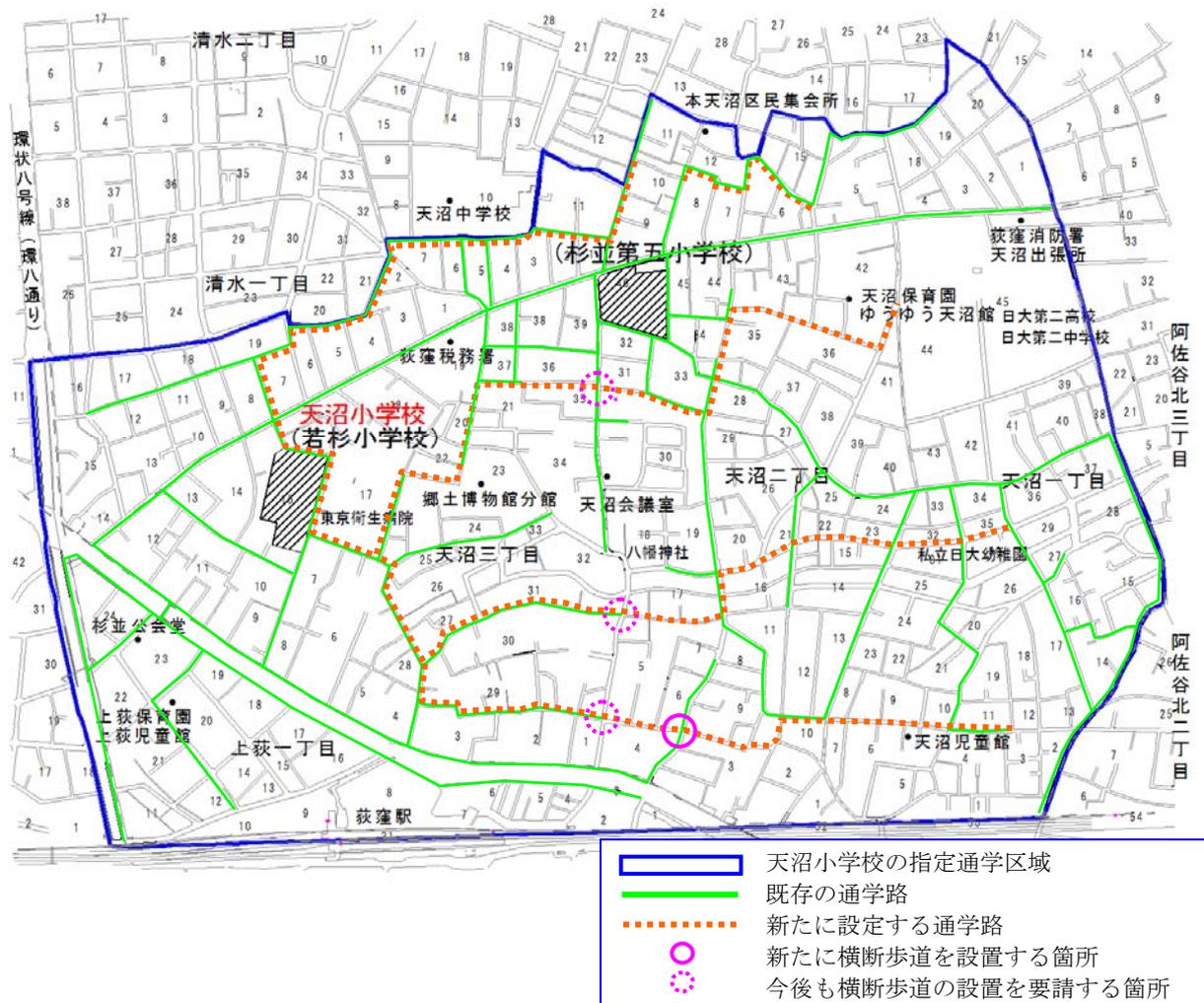
晴れた日に考える
青空みつめどこまでも
答えもとめて問いかける
世界は不思議でいっぱいだ

曇る日は思いやる
苦しんでいる子どもらを
いつもどこか見つめてる
よりよい世界は夢じゃない

雨の日もたくましく
杉の木みたいたにまっすぐに
心とからだのびのびと
今日から明日へと学ぶ日々

天沼小学校の新通学路

天沼小学校の通学路は、現在の両校の通学路をそのまま残し、現杉並第五小の通学区域から天沼小への通学路を新たに4つ設けます。最終的な通学路は下図のとおりです。



統合協議会（最終）

2月5日に開催した第21回統合協議会では、19年度に協議した内容をまとめた最終報告書を協議しました。最終報告書の内容は、校名決定の経緯、校章、校歌、通学路、教育方針の協議内容を記すとともに、校章及び校歌の応募作品などを資料編としてまとめています。

協議の結果、統合協議会として教育委員会に報告することが了承されました。報告書は、3月中旬に教育委員会のホームページに掲載していきます。

統合協議会の最終回にあたり、各委員からこれまでの感想が述べられました。

- ・ 少子化の時代にあって、統合することはよいことと思っておりましたが、今ある学校がなくなることは残念でなりません。しかし、子どもたちのことを思い、いたずらに時間をかけることはよくないと考えました。新しい学校に夢を託し、天沼小学校が栄えることを望んでいます。
- ・ 2年間に渡り検討し、新しい学校の土台ができました。すばらしい学校になることを期待しています。
- ・ 保護者として不安に思うことを一つひとつ解消できればと思い、協議会に出席しました。子どもたちは新校を楽しみにしています。今では子どもたちに励まされているような気持ちです。
- ・ 4年前、統合の話が出されたときは驚き、悩みもしました。協議会に参加して新しいものをつくることの難しさ、そのために何が必

要かを考え、たくさんの方を学びました。

- ・ 協議会に参加して、校舎の設計のことなど、多くのことを学ばせていただきました。
- ・ これまでの間、紆余曲折ありましたが、統合に向けてとても良い話し合いができました。これも地域の皆さんのおかげと感謝しています。
- ・ 校章や校歌の立ち会うことができたことを誇りに思います。これからも、学校を支え、協力させていただきます。
- ・ 地域の教育力のあり方を考えて参加しておりました。協議会に参加して、自分自身の勉強にもなり



ました。

- ・ 統合第1号の学校を一番の学校にしようという前向きで建設的な議論ができて、本当に良かったと思います。
- ・ このあいだの百人一首大会を見ても、杉並第五小、若杉小の子どもたちはとても仲良く交流ができています。先生方の努力に感謝いたします。
- ・ これまで皆で検討した学校ですから、間違いなくよい学校ができていると思っています。これからも、関係者が一体となって新しい学校づくりに取り組むことが大切です。

最後に、会長、副会長、そして教育長からのあいさつがありました。

教育長 井出 隆安

これまでの間、協議会委員の皆さまが熱意と愛情をもって協議されたことに改めて敬意と感謝の意を表したいと思います。

この地に住まれる皆さまが、いかほど学校を思い、子どもたちのことを考えて日々過ごされているか、こと急あれば、あらゆる英知を寄せ合ってその解決を図り、未来を拓いていこう

とされる姿勢は、まさに「いいまちが、いい学校を育てる」というお手本を見せていただいた思いがします。

天沼小学校を、私どもも全力を挙げて支えてまいります。どうか、地域の皆さまにおかれましても、今後とも変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。

会長 中島 豊(若杉小学校長)

2年間に渡る協議を経て、今日、ここに至ったわけですが、これも、協議会委員の皆さまの広い見地からのご意見、ご示唆のおかげと感謝しております。

子どもたちは様々な合同活動を日常的に行っています。百人一首大会、友禅体験、国語や算数の合同授業など、杉並第五小の子、若杉小の子という区別はまったくありません。子ども

たちが一番先頭に立って、統合新校へのステップを歩んでいると実感しています。

協議会の場で、PTA、地域の方、同窓会、教職員、区教育委員会が子どもたちのために何ができるのかを話し合っている学校ですから、よい学校にならないはずがありません。

本当に2年間ありがとうございました。

副会長 東海林 孝吉(杉並第五小学校長)

これまでの間、建設的な話し合いが進められてきたことは、協議会委員の皆さまの知恵と力添えの賜とっております。

私も、若杉小の子どもたちと触れ合う時間が日に日に増えています。子どもたちは、校長室に来て校舎の模型を見ては、「ここは何になるの」と言って、非常に楽しみにしています。子どもたちのそのような姿を見るにつけ、よい準

備ができたと感じております。

天沼小学校が、両校の伝統と歴史を併せ持った学校として、1足す1が2ではなく、4にも、5にもなることを信じています。

どうか皆さまには、今後ともご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

式典等について

○平成20年2月22日(金)午前

若杉小の子どもたちによる、「ありがとう 若杉 旅立ちの会」が開催されました。

楽しく過ごした若杉小学校での思い出。児童の願いを込めた風船が、天高く舞い上がりました。

ありがとう、若杉小学校。



○平成20年2月23日(土)午前

杉並第五小の子どもたちによる、「杉五小 ありがとうの会」が開催されました。

心を込めて子どもたちが手づくりした花吹雪が体育館の中を舞い上がりました。

ありがとう、杉並第五小学校。



○平成20年2月23日(土)午後

杉並第五小閉校記念式典が開催されました。杉並第五小学校に関係の深い皆様を来賓としてお迎えし、児童、保護者、先生方が見守る中、校旗が区長に返還されました。

杉並第五小学校の歴史を振り返る写真やDVDが写し出され、4年生から6年生までの子どもたちから、歴史と感謝の気持ちを呼びかける言葉や歌を捧げました。多くの参列者が杉五小の歴史と伝統の重みを心に刻み込み、子どもたちの歌声に感動し胸が熱くなる式となりました。



○平成20年3月1日(土)午前

若杉小閉校記念式典が開催されました。若杉小学校に関係の深い皆様を来賓としてお迎えし、児童、保護者、先生方が見守る中、校旗が区長に返還されました。

1年生から6年生、こだま学級の子どもたちからの感謝の言葉や、6年生の子どもたちが作詞した「ありがとう 若杉」の歌を感謝の思いを込めて、高らかに歌いあげました。若杉小で過ごしたたくさんの時間、卒業してからも若杉小と共に歩んで来た時間、それぞれの思い出を胸に、多くの方々の目に涙が光っていました。



杉並区防災課からのお知らせ

○杉並第五小学校の震災救援所について

杉並区では、震災時の避難所である小中学校の代替施設として協力してもらうよう、日本大学第二高校と文化女子大学附属杉並高校と区との間で協定を締結しています。

杉並第五小は、天沼小学校新校舎建設のため、工事期間中の平成22年8月まで使用できなくなります。杉並第五小へ避難されていた地域の方々は、工事期間中、両高校を避難所として活用することができます。

期 間：平成20年4月から平成22年8月まで
避難先：日本大学第二高校 天沼 1-45-33
文化女子大学附属杉並高校 阿佐谷南 3-48-16

名称：杉並第五小学校・若杉小学校
統合協議会ニュース最終号
発行：平成20年3月
計画のお問い合わせ先：
杉並区教育委員会事務局学校適正配置担当
電話 03-3312-2111 (代表)
E-mail : GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp



杉並第五小学校と若杉小学校の統合に関する資料は、杉並区教育委員会のホームページに掲載しています。
○教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>